

仕事が充実していないと生活も充実できない



安江 大輔さん



◆男性の「仕事と子育て」のロールモデルを

ツシユできます。

田村 当社のワーク・ライフ・バランスは、女性の能力活用や育児支援がもたせているのですが、猪上さんから見てそのあたりはどのように感じていますか。

猪上 仕事と子育てを両立しながら活躍している先輩女性が周りにたくさんいるので、とても励みになります。できるなら結婚もしたいし、仕事も続けていきたいと思っています。

山中 私が初めて就職した当時は、女性は結婚したら仕事を辞めるというのが一般的でした。同世代には子育てが終わってから働こうと思ってキャリアがなく仕事に就けないという人も多いのですが、女性が働き続けられる環境が整っているのはとても大事なことだと思います。
田村 当社では男性が育児休暇を

とる例も徐々に増えています。これからは男性の仕事と子育てのロールモデルも必要になってくると思います。

田村 我が家は妻が育児休暇をとる予定ですが、私も子育てにかかわっていききたいので、外出先でメールをチェックしてそのまま直帰するなど、仕事の仕方を工夫していこうと思います。

安江 ぼくも結婚したら家事も子育てにも参加していきたいので、ぜひ男性のロールモデルがあるといいですね。

◆それぞれのワーク・ライフ・バランスのこれから

田村 仕事では役割が増えて責任も重くなってきているので、その期待に応えられるよう努力したいと思います。私生活では趣味や勉強など、自分に投資する時間もほしいので、効率よく働くことを心がけていきたいですね。

山中 一生続けられる趣味を見つ

けたいですね。それには仕事のモチベーションをあげて働くことが大事だと思います。

安江 私生活では未来の自分への投資につながる活動をしていきたいです。それには最小限の時間で最大の効果をあげられるような働き方を目指します。

猪上 ワーク・ライフ・バランスの度合いは人それぞれだと思うのですが、自分のバランスを主張するだけでなく、一緒に働いている人のバランスも尊重できるように職場にしていきたいですね。たとえば、同じグループの人が休暇をとりたいたと申し出た時に、それを心配するのではなく、「楽しんできてね」と言ってあげられるといいと思います。

田村 いま社会の変化とともに何に軸足を置いて働くのか、自分の生き方が問われていると思うのです。ワーク・ライフ・バランスが形だけのものにならないよう、私も自分に問いかけていこうと思います。

お互いのバランスを尊重しあえる職場に



猪上 加奈さん

個人の生き方が問われている時代



田村 選矢さん

特集

ワーク・ライフ・バランスってなに？